日本共産党 北海道議会議員

丸山はるみいきいき通信









出来ることを目的に、

初めての育児、

久しぶりの育児、

授乳や沐浴などの

不安にたいし、産後の母親が安心して地域で子育てが

育児サポートを行うのが産後ケア事業です。

母子に対して心身のケアや授乳

道内100%展開を迅速に 「産後ケア事業」

で実施されています。実施

道内では151

-の市町村

方法別では「宿泊型」88

ます。 ら道内での早期実現を求め 国展開を目指すとされてい おいて、今年度末までに全 ている県の事例も示しなが 「アウトリーチ 「ディサービス」11 02市町村となっていま 00%の市町村が実施し 少子化社会対策大綱に 丸山道議はすでに (訪問)」 3

子ども・若者の意見表明権の尊重を

説明資料の作成、

ため、

会議などの場で参加

もにわかりやすい資料の作

「事業実施に当たり、

子ど

子ども政策企画課長は

校等へのファシリテーター 見反映推進事業として、 るため今年度、子どもの意 意見を道の施策に反映させ

> い」と道の認識を問いま 択を判断していただきた と等を考慮して委託業者選

北海道はこども・若者の

(議論の目標・目的達成の



4月10日予算特別委員会で

生にも拡大します。 う「北海道ユースプランナ からは大学院生・専門学校 から道の施策への意見を伺 道は、 制度」について、 道内の大学生世代

どもたちからも好評で同様 員会との連携の必要性につ 見が出された場合の教育委 会の複数開催を求めるとと 意見を聞くために子ども部 ど関係機関と共有し、子ど 政策企画課長が「2021 もたちに対し、必要なフィ る意見については教育庁な の開催とする。 は二日間の日程で開催。 み期間のオンライン開催で 年度コロナ禍のもと、夏休 いても質しました。子ども もに、学校生活に関する意 と答弁しました。 -ドバックを行っていく」 山道議は、 会議におけ より率直な 子

ーのさらなる拡大を 北海道ユースプランナ

今年度

というのであれば、さらに 事と指摘しました。 様な視点からの意見を聞く 名の登録となっている」と 年度実績では17大学1 メンバーを増やすことが大 の答弁です。 山道議の質問に、 丸山道議は多 48

意見表明権の尊重を子ども基本法に沿った

沿い意見表明権を尊重した 取組の強化を求めました。 を踏まえ、子ども基本法に わない」と応えている現状 思わない」「全くそうは思 に88%の子どもが「あまり の意見を尊重しているか」 丸山道議は北海道のアン 「日本社会は子ども

権利が守られ、 取り組んで参る」と答弁し や表現しやすい環境作りに 行いながら、子どもたちの 「子どもたちと直接対話を 子ども応援社会推進監が 意見の尊重

丸山はる 子ども政策調査特別委員会で 質問する丸山はるみ道議

は、 医療機関との調整を行うな な実施の働きかけ、 の不足などの課題について 事業実施を働きかけると答 は複数市町村による広域的 子ども育成支援担当課長 しま 委託先の確保、 専門職

産後ケア体制づくりを助産師による

丸山道議は「産後ケア事

組んでおり、 域的な実施体制の構築に向 ア事業のより一層の促進を 海道として支援すべきと道 とされている事から、 門的ケアは原則助産師を中 後4ヶ月までの時期は乳房 業ガイドライン」で、 まりました。 道助産師会の協力の下、 も応援社会推進監は、 の取組を求めました。 師による産後ケア体制を北 心とした実施体制での対応 市町村への支援に取り 褥婦や新生児への専 今後も産後ケ 子ど 助産 北海

充実を

必要と重ねて指摘しました。 きながら自治体間の連携と 用件数が増えている事例を 使いやすい制度への充実が 丸山道議は小樽市でも利 利用者の意見を聞

発行:日本共産党北海道議会議員 丸山はるみ事務所 〒047-0032 小樽市稲穂1-12-205 TEL 64-5591 FAX 64-5592 メールアドレス: jcp-maruyama@harumi7013.com

第74回北海道植樹祭で、アカエゾマツを植樹



の実現にもつながると、 づくりに積極的に取り組む よる共同の森林づくりを進 木育の推進はもと 道民の皆様が森林 しています。 北海道植樹祭を 本植樹・育樹運動」を展開 樹を目指す「道民ひとり) で500万本の植樹

毎年開催 めるため、

北海道では、

道民参加に

育マイスターによるワ

昨年、

することとしました。 000人が参加した植樹 が吹き抜けるなか、 5月19日、さわやかな ースが設けられ 式典会場を囲むよ

) のパネル展示などが行わり専門学院 (北森カレッジショップや道立北の森づく ほかにもミズナラやハルニ はアカエゾマツでしたが、 植樹です。 行われた式典の後は、記念 元小学生による緑の宣言が 事等のあいさつに続き、地 れました。 丸山道議が植え付けたの 主催者である鈴木直道知

農試公園視察~誰でも楽しめる公園づくり~

4月26日、視察に訪れた 札幌市西区の農試公園。

写真は車イスのまま利用 できる砂場です。大変人気 で砂がなくなるため定期的 に補充をするそうです。



卑入れしました!!

「長谷川問題」の全容解明・エアコン設置費も道教委負担で

議団は4月24日、倉本博史 用が、2023年度の補正 や保護者から寄せられ、道 予算でつきました。 に丸投げ」等の声が、 けが届き、 の窓用エアコン設置の費 道立高校や特別支援学校 「エアコン機材だ 設置作業は現場



じ対応していく」と応えま をよくとりながら必要に応 意を呼びかけている状況が 窓枠の大きさが合わず設置 整備に関する緊急要請」 学校への簡易型空調機器の 道教育長(当時)に ある」と安全確保の必要性 事例を挙げ「生徒たちに注 20キロに及ぶ窓用クーラ-に困難が生じている学校の 道議団は要請で、 倉本氏は「各学校と連携 作業の安全性に懸念が 丸山道議は、 重量が 道立

すことなどを求めたもので について、指針と対策を示 『指示』だったの 『依頼』だ 談窓口は機能して と調査して欲しい」と訴え 不十分な点をし パワハラ対応の道の相

いたの

つかり



前書を提出しました。 な全容解明を求め、 児道議団は4月17日、 職員に対する言動や

問題を巡り

「にんしんSOS北海道」アットホームな居室をさらに一部屋増設予定

丸山道議のこれまでの質問に応え、鈴木知 事が整備をすすめるとした、予期せぬ妊娠の 相談窓口が、、にんしんSOSほっかいどう。 です。新年度に入り北海道は昨年度と同規模 で支援を実施、また札幌市も支援をすると決 まりましたが、民間団体からの補助金がなく なり厳しい運営が続きます。

4月某日、改めて事業者を訪ねました。相 談件数は月に平均約160件、ときには200件を 超える月もあると言います。

医療機関に未受診で出産まで2~3か月で あると考えられる相談者。 パートに戻ることは困難で、事業者が提供す





る部屋に母子ともに移ることにしました。

丸山道議の訪問時、偶然あいていた居室を 視察しました。清潔な水回り、使いやすそう なキッチンとリビング。個室にはベビーベッ ドと母親のためのベッド。長くはないここで の滞在中に食事・洗濯・赤ちゃんのお世話等 をスタッフの下で習得し、自立していきます。 その後も見守りを続けるというスタッフ。

増える相談件数に現在の事務室を居室に改 装予定と聞きました。

公営住宅や母子生活支援施設を利用しやす くして欲しいと要望を受けました。